

パグ アサ
PAG-ASA

JFC 奨学金基金報告
パグアサー夢・希望
2018年6月

【新 JFC 奨学生 ナナコ ジェーン ロメロさんへの家庭訪問】

社会・経済的状况



クバオから LRT2(首都圏を走る電車)に乗り、LRT1に乗り換えて 5th アベニュー 駅で下車します。駅周辺は交通渋滞がひどく、排気ガスが充満していました。そこからジプニーに乗り換え、10 分ほど走ると、住宅街に入ります。その一角に母子の住む家があります。母子の家周辺は、比較的大きな家が建っており、道路も舗装されていました。たくさんの子ども達が道路で遊んだり、大人達も井戸端会議をしたりと、とても賑やかな場所です。

JFC ナナコさん(17 歳)は、母親マリビックさん(50 歳)、JFC の異父姉マリア ラセル レモラさん(25 歳)の 3 人で生活をしています。彼らが住む家は、マリビックさんの親戚の所有になっていますが、買い上げるため全額費用を支払ったそうです。しかし、親戚が権利書を渡してくれないため、現在もマリビックさんの所有に

なっていません。家は 2 階建てで、1 階にはキッチンとダイニングルーム、2 階は狭いテラスと親子の寝室 1 部屋があります。1 階のキッチンはとても小さいですが、きれいに片づけられています。ダイニングルームには、テレビと扇風機が置かれてあるのみで、そのほかの電化製品はありません。2 階は、マリビックさんが日本で仕事をしてきた時に得た収入で増築したようですが、屋根が錆びて穴が開いてしまっており、雨期には雨漏りで母子の寝室中が水浸しになってしまうそうです。屋根の張替えを望んでいますが、経済的に余裕が全くないため、放置されています。1 階には窓が無く、2 階のテラスも多くの物が覆いかぶさっているため、外からの新鮮な空気が入らず、家の中は熱気がこもっているため、あまり快適な場所とは言えません。



JFC 家族は、マリビックさんがベビーシッターとしての収入 2400 ペソ(約 5100 円)と彼女のボーイフレンドが渡してくれる生活費約 9000 ペソ(約 19000 円)で生活しています。以前、マリビックさんはサリサリストアを自宅で経営していましたが、行政から違法営業の注意を受け、ス

アを閉じてしまいました。彼女としては、ベビーシッターの仕事をもう少し増やしたいそうですが、年齢的に体力が低下し、また障害を持つ長女を家に1人でいさせることができないため、それも難しいそうです。

JFCの状況



JFC ナナコは、2018年3月にM.B.アシスティオ高校を卒業しました。彼女は、進学クラスの中でもトップ10内入っており、成績の平均点は97点でした。卒業式にはたくさんのメダルを取得しています。彼女の夢は、将来日本で英語教師として働くことだそうで、そのためにもフィリピンでの学業を終えることが必要だと考えています。彼女は夢をかなえるため、カロオカン市立大学教育学部英文科を受験し、2018年5月に合格通知を受け取りました。2018年6月から大学1年生

として学び始めます。彼女の成績であれば、フィリピン大学やフィリピン工科大学など国立大学に合格できる可能性がありましたが、通学など交通費を出す事ができないため、受験を断念したそうです。彼女は、とても大人しい性格のように感じましたが、高校生の頃にはバンドのボーカルとして活動し、活発な面もあるようです。思春期には、母親と衝突することもあったようですが、現在は落ち着いた生活をしているようです。JFC ナナコは、将来フィリピンで教員免許を取得して日本で英語教師として働くために必要な大学進学を達成しました。彼女は、目標を達成するために頑張っている毎日を生きています。しかし、マリビックさんの経済状態や家の事など生活の基盤が不安定な状況は、そんな彼女に大きな影響を与えることは確実です。実際に、マリビックさんはナナコの大学入学準備に頭を抱えている状態です。

JFC 母子の生活は、とても危ういように感じました。現在、ナナコさんはマリビックさんとマリビックさんのボーイフレンドからの支援に頼っています。しかし、マリビックさんとボーイフレンドとの関係が悪化した場合には、支援も打ち切れ、マリビックさんの収入のみになってしまいます。また、現在住んでいる家も権利書を渡されていないため、いつでも立ち退きを迫られると出て行かなくてははいけません。ナナコさんがこのような不安定な生活で、彼女が大学を無事に卒業できるのか分かりません。私達は、一生懸命勉学に励み、将来のために頑張っている彼女の夢をかなえるため、彼女を奨学生として支援したいと思います。今後とも、ご支援よろしく願いいたします。

